

令和 3 年 11 月 5 日

各都道府県・指定都市老施協・デイ協
会 長 各 位

公益社団法人全国老人福祉施設協議会

会 長 平 石 朗

(公 印 省 略)

LIFE の普及啓発に向けた研修の実施について

時下、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、本会では、令和 3 年度介護報酬改定にて、科学的介護情報システム (LIFE) による介護関連データの収集・活用及び PDCA サイクルによる科学的介護の推進を目的に、LIFE へのデータ提出とフィードバックの活用が推奨されたことを受け、動画や研修等によって LIFE の普及啓発を図り、LIFE に関する業務の負担感や今後の不安感の解消に努めるべく、事業の準備を進めております。

その一環として、LIFE の研修を希望される方が所在する県で研修を受けられるよう、研修プログラムを作成し、講師の派遣体制を整えました。

つきましては、全国老施協 LIFE 研修実施要領をご確認の上、研修の実施を希望される場合は、LIFE 研修依頼書に必要事項をご記載の上、申請いただきますようお願い申し上げます。

記

1. 事業名 全国老施協 LIFE 研修
2. 期間 令和 3 年 11 月から令和 4 年 3 月末まで
3. 備考 LIFE 研修依頼に必要事項を記載の上ご依頼ください。
※本会ホームページからもダウンロードできます。トップページの「重要なお知らせ」よりご確認ください。

【添付文書】

- ・ 全国老施協 LIFE 研修実施要項
- ・ LIFE 研修依頼書

〔連絡先〕

公益社団法人全国老人福祉施設協議会 (松岡、吉野、鈴木 (彩))
〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-1 塩崎ビル 7 階
T E L : 03-5211-7700 F A X : 03-5211-7705
E-mail : js.souken@roushikyo.or.jp

全国老施協 LIFE 研修 実施要領

全国老施協では、令和3年度介護報酬改定における LIFE の普及啓発の一環として、LIFE に関する研修プログラム作成し、都道府県・指定都市老施協・デイ協（以下、「県老施協等」という）での研修開催を支援することで、より多くの施設の LIFE への取り組みに資するべく、本研修要領を策定する。

1. 目的

令和3年度介護報酬改定への対応として LIFE の普及啓発と取り組み支援を行う。

2. 実施期間

令和3年11月から令和4年3月末

3. 目標

受講を望む会員施設が参加できるよう47都道府県での研修開催を目指す。

4. 実施内容

(1) 研修のプログラム

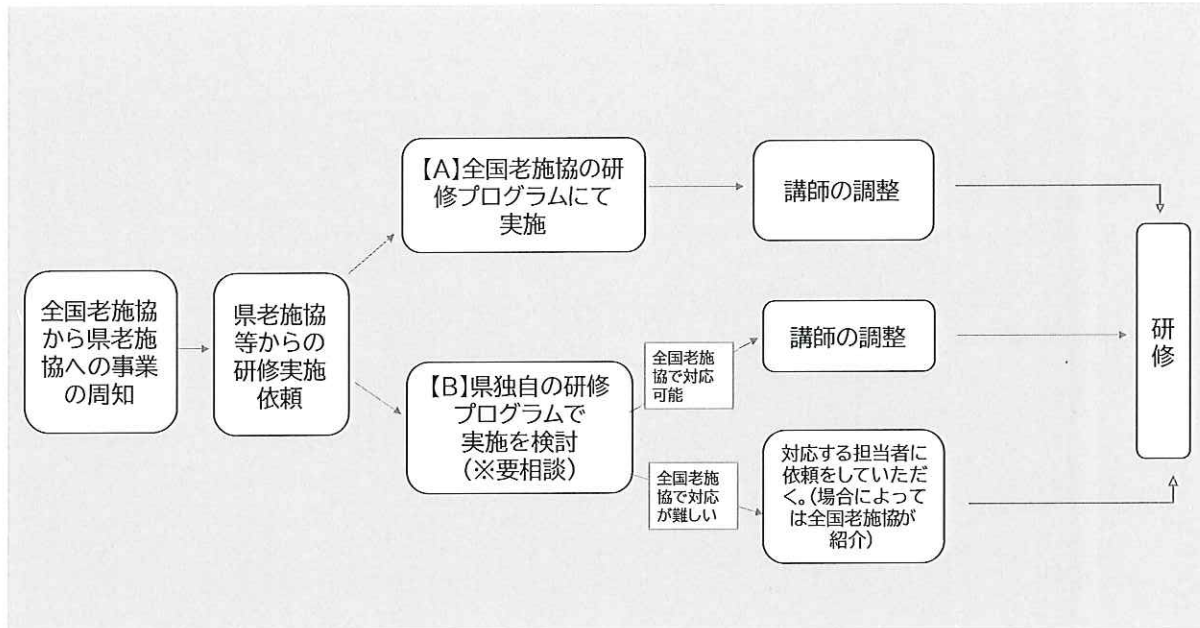
Web 研修（ライブ配信）のプログラムを下記のとおり設定する。

※ ただし、県老施協等にて独自の LIFE の研修内容を検討している場合は、全国老施協と県老施協等で研修内容の調整を行うこととする。

LIFE 研修プログラム(案)

時間	講演内容	講師
30分	1. LIFE の導入背景・これからの介護現場のあり方 ①LIFE 導入背景、目的 ②LIFE 活用のポイント、流れ ③LIFE 関連加算について	全国老施協役員等
60分	2. 実践事例(LIFE 導入のプロセス) 2-1 特別養護老人ホームのスタンダード事例 ①体制やネットワーク等テクノロジー導入の状況 ②LIFE や関連機器に関する情報共有 2-2 通所介護事業所のスタンダード事例 ①体制やネットワーク等テクノロジー導入の状況 ②LIFE や関連機器に関する情報共有 2-3 LIFE 関連加算(科学的介護推進体制加算) 2-4 フィードバックについて 2-5 自施設での取り組み	全国老施協 LIFE 講師
30分	3. 質疑応答	全国老施協役員等 全国老施協 LIFE 講師

(2) 研修までのフロー



(参考) 県老施協等独自の研修プログラムで講師等を検討する場合のイメージ

1. LIFE の概要について
 - ・ 全国老施協役員等
2. LIFE 本体(システム)へのデータ入力等に関すること
 - ・ 厚生労働省又は LIFE ヘルプデスク
3. LIFE システムに連動する「介護記録ソフト」に関すること
 - ・ 大手ベンダー (NDソフト or ワイズマン) 又は施設と連携してシステム開発に取り組まれた方
4. LIFE 関連加算に対する解釈や評価基準
 - (1) 全体的な内容
 - ・ 加算取得の要件や実地指導のポイント …各都道府県の実地指導の担当課
 - ・ 加算の内容や制度について …全国老施協役員等
 - ・ 現場視点での注意点 …全国老施協役員等
 - (2) 専門分野 (LIFE 関連加算で用いられる各加算の評価尺度の考え方など)
 - ・ ケアの質の向上に向けた LIFE 利活用の手引き WG 委員や評価指標に詳しい専門家 (予定)
5. 施設の LIFE 実践事例 「加算算定～データ提出」、「フィードバック～PDCA」
 - ・ 全国老施協 LIFE 講師

(3) 研修にかかる業務分掌

研修にかかる業務分掌については、次頁の表のとおりとする。表に記載のない業務が生じた場合、全国老施協と県老施協等で調整を行う。

研修にかかる業務分掌

時期	全国老施協	県老施協等
1～2 か月前	○講師の調整	○講師派遣依頼
1 か月前 まで	○講師の決定	○参加者への「事前アンケート」実施 →全国老施協に結果を提供 (3週間前を目途)
1 週間前 まで	○全国老施協 LIFE 講師との事前打合せ 【打合せ内容】 ・研修内容の確認(対象者等) ・事前アンケートの精査 ・講演内容への反映 ・その他	○必要に応じて講師との連絡調整
研修当日		○研修会の運営・進行等 ○当日の「質疑応答」を記録 →全国老施協へ質疑応答内容を提供 ○参加者への「事後アンケート」実施 →全国老施協に結果を提供
終了後	○当日の質疑応答内容の精査 →質疑応答を全国老施協 HP へ掲載 ○事後アンケートの精査 ○他の講師への研修内容の共有	○謝金支払い等

令和3年度 全国老施協 LIFE 研修 依頼書

依頼者	所属	
	役職	
	氏名	
	住所	
	電話	
	e-mail	
会議・研修会名		
実施日時	開催日	令和 年 月 日 ()
	時間	午前 時 分 ~ 午前 時 分 (分)
実施方法	<input type="checkbox"/> Web 研修 (ライブ配信) <input type="checkbox"/> 集合型研修 (会場:) ※集合型研修は講師派遣ができない場合があります。	
参加者	主な職種 () 人数 (名程)	
依頼内容	<input type="checkbox"/> 全国老施協の LIFE 研修プログラムを依頼 (約120分) ※独自の研修プログラムの一部として、本会の LIFE 研修プログラム (約120分) をご依頼いただく場合もこちらにチェックをお願いします。 <input type="checkbox"/> 独自の研修プログラムへの講師派遣・紹介を依頼 ※備考欄に詳細をご記入願います。	
謝金額	円 (<input type="checkbox"/> 主催者の規定による額 <input type="checkbox"/> その他)	
備考		

おそれ入りますが、本依頼書にご記入の上、メール又は FAX にてご返送ください

Mail: js.souken@roushikyo.or.jp FAX:03-5211-7705 (担当: 松岡、吉野、鈴木彩香)